

2023年12月4日

神奈川県知事

黒岩祐治様

要請文

オスプレイ墜落事故の徹底した原因究明の情報公開と  
飛来中止について

県民の生活を守る立場として、様々な課題について取り組まれていることに敬意を表します。とりわけ、米軍基地・自衛隊基地に関する諸問題の解決について、ひとときを尽力されていることにあらためて感謝します。

さて、11月29日午後2時45分ごろ、鹿児島県の屋久島沖で米軍横田基地所属のCV22オスプレイが墜落事故を起こし、乗員とみられる男性1人の死亡が確認され、海上でも機体の残骸のようなものを多数見つけたとの報道がありました。現在も行方不明の乗員の捜索が続いています。(11月30日現在)

事故同日、厚木基地においては普天間基地所属のMV22オスプレイが4機編隊で飛来し、小学生の下校時刻に上空を低空飛行する様子、翌日には藤沢上空を飛来していることを多くの市民が確認し、大事故を危ぶむ声が寄せられています。

オスプレイは、ローター(回転翼)のギアボックスとエンジンをつなぎ、動力を伝達するクラッチが何らかの原因で滑る「ハード・クラッチ・エンゲージメント」による事故が多発し、一時米軍も一部機種の飛行を自主的に停止しています。しかし、国は「運用上の理由」から、飛行停止される機数や期間は明らかにしないままいつの間にか通常通りの訓練や作戦が開始されている現状があります。

2014年にオスプレイが初めて厚木基地に飛来して以降、基地周辺住民はその機影におびえてきました。

開発当初から事故を繰り返していること、2016年には名護市東海岸で着水し大破する事故を起こすなど、その後も大事故が続いていること、にもかかわらず詳しい事故調査報告が開示されていないこと、また緊急着陸が頻発していることにも明確な説明がないことなどが重なり、オスプレイの飛行の安全性に不安を感じています。

貴職におかれても、そのような住民の不安を十分理解していることと思われまます。

だからこそ、貴職から、「今回の事故原因の徹底究明と市民への情報開示、事故対策と安全性が確認されるまですべてのオスプレイの飛行中止の徹底」を国に対し申し入れすべきと考えまます。

また、南関東防衛局では職員を厚木基地に連日派遣して、オスプレイの離着陸状況を把握し、それを貴職に伝えていると仄聞しています。市民は、その情報を基に生活への影響が出ないよう対話を求め、情報の正確性を確認してきました。しかし、県のホーム

ページには、今回の事故のことを含め情報提供がされていません。基地問題は現地の状況がわかりにくく、行政と市民との意思疎通は不可欠なものです。

以下、あらためて申しいたします。

- 1 11月29日米軍横田基地所属のCV22 オスプレイの墜落事故は国内初の重大事故であることを重く受け止め、原因究明の徹底及び安全を市民が確認できるまですべてのオスプレイの飛行中止を国ならびに米軍に強く申し入れてください。
- 2 今回の事故原因の究明と結果を情報公開するようを国に求め、県内に多数ある基地周辺の市民ならびに上空をオスプレイが飛来する地域の市民の不安が低減するよう市民への情報公開を含め、努めてください。
- 3 今後も、防衛省一南関東防衛局に、全てのオスプレイの飛来情報・離着陸情報を伝達するよう要請し、提供された情報については可能な限り早く県ホームページ等で開示してください。
- 4 住民からのオスプレイ飛来情報を収集する仕組みを立ち上げ、県独自でオスプレイの飛行状況の分析・把握に取り組んでください。

申し入れ団体

神奈川ネットワーク運動

代表 佐々木ゆみこ